

## 女子決勝戦評

チーム名		4		13		チーム名
龍ヶ崎	28	9	VS	10	36	十王
		6		5		
		9		8		
1Q	<p>龍ヶ崎ボールからのスタート。出だし1分半、両者1歩も先制を許さず、ラリーが続いた。白⑦フリースロー2本の先制でゲームが動き始め、青⑤続いて⑥のミドルシュートが連続して入った。負けじと白④⑦がドライブをしかけ、強気で攻めたが青がリバウンドシュートを確実に決め、徐々に点差が開く。1Q終了間際、青のナイスDFリバウンドにより、9点差をつけ、十王リードで終了。</p>					
2Q	<p>十王ボールでスタート。青④先制、残り5分で白⑨のリバウンドシュートが決まり、つづいて白⑤ドライブシュート、バスケットカウント1スローで食らいつく。十王はリバウンドが取れず苦しむが、青④ドライブシュートが決まりリードを保つ。白⑩リバウンドからの速攻が決まり、ペースは龍ヶ崎になっていたが、ここで惜しくも13-23、10点差で前半終了。</p>					
3Q	<p>十王ボールからスタート。1Qと同じく、1分半両者1歩も先制を許さず、ラリーが続いた。青④先制からスタートし、青⑩カットして速攻、ドライブシュートを決めた。続いてお返しと白④ロングシュート、白⑦ミドルシュートが続けて入り、ヒートアップが続いた。残り1分半、白⑤のアンスポがあり、青⑦フリースロー、青ボールからのスタート。ヒートアップがその後も続き、両者リバウンドを1歩も譲らず、残り7秒、白⑤ドライブシュートで、フリースローをもらい、2本決めて3Q終了。19-28</p>					
4Q	<p>十王ボールからスタート。青⑥ロングシュートで先制。すかさず龍ヶ崎⑤のドライブシュートで食らいつく。十王が得点を重ね、対する龍ヶ崎も⑤⑥のドライブシュートが決まり、十王を徐々に追い詰めていくが、力及ばず、夏に続き十王が接戦を制した。</p>					